

平成 2 9 年 度 第 1 回 埼玉県立近代美術館協議会

【 目 次 】

平成 2 8 年度事業報告	P 1
1 常設展示事業	P 1
2 企画展示事業	P 4
3 美術作品収集事業	P 10
4 普及事業	P 12
5 美術館の利用促進事業	P 13
6 子ども向け事業	P 14
7 学校との連携	P 19
8 ボランティア活動	P 21
9 「椅子」の有効活用	P 21
10 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業	P 22
11 一般展示室の利用状況	P 26
平成 2 8 年度入館者数一覧	P 32
平成 2 8 年度決算の概要	P 33
平成 2 9 年度事業実施状況	P 34
1 常設展示事業	P 34
2 企画展示事業	P 36
3 美術作品収集事業	P 39
4 普及事業	P 39
5 美術館の利用促進事業	P 40
6 子ども向け事業	P 40
7 学校との連携	P 44
8 ボランティア活動	P 45
9 「椅子」の有効活用	P 46
10 一般展示室の利用状況	P 47
平成 2 9 年度入館者数一覧	P 48
平成 2 9 年度当初予算の概要	P 49

日 時：平成 2 9 年 8 月 3 1 日（木）午後 2 時～

場 所：埼玉県立近代美術館 3 階会議室

平成28年度 事業報告

1 常設展示事業

(1) MOMASコレクション（常設展）の開催

平成27年度は4期に分け、多彩なテーマと切り口で収蔵作品を中心に一部借用作品も交えて企画性の高い展示を試みた。

会 期	内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
第1期	「セレクション： モネとかピカソとか」 「re-presentation イメージの継承と創造」 「小村雪岱の版画」	83点	自 平成28年 4月16日(土) 至 7月10日(日) (70日間)	9,615人 1日当たり 137人 うち有料観覧者数 6,178人 1日当たり 88人
第2期	「セレクション： ユトリロとか佐伯祐三とか」 「埼玉の日本画 - 近代から現代へ」 「『方寸』の時代」	74点	自 7月16日(土) 至 10月16日(日) (83日間)	12,165人 1日当たり 147人 うち有料観覧者数 6,013人 1日当たり 72人
第3期	「セレクション： デルヴォーとか瑛九とか」 「絵画と彫刻の ^{あわい} 間」 「橋本真之《果実の中の木もれ陽》 これまで / これから」	49点	自 10月22日(土) 至 平成28年 1月15日(日) (69日間)	8,946人 1日当たり 130人 うち有料 観覧者数 3,868人 1日当たり 56人

会 期	内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
第 4 期	「セレクション： フジタとかパスキンとか」 「近代の日本画」 「特集：古川吉重」 「谷川晃一《Jazz》」 「アーティスト・プロジェクト 2.01 齋藤春佳」 (2/11～3/26 観覧無料 3,552人)	62点	自 1月21日(土・祝) 至 4月16日(日) (75日間)	9,145 人 1 日当たり 122 人 うち有料観覧者数 1,814 人 1日当たり 24 人 アーティスト・プ ロジェクトの観覧者 数を除く

(2) サンデー・トークの開催

MOMASコレクションおよび特別出品の展示作品から毎回1点を選び、学芸員による解説を実施する。

解 説 作 品	実 施 日	参加人数
アンドレアス・M・カウフマン 《小さな美術史マシーン》	平成28年4月24日(日)	24人
オーギュスト・ルノワール《三人の浴女》	5月8日(日)	28人
小村雪岱《筑波》	6月12日(日)	13人
倉田白羊《「方寸」表紙図案原画》1909年	7月31日(日)	15人
山路真護《パリの環状高架線》	8月21日(日)	18人
森田恒友《ヴェトウイユの春》	9月4日(日)	18人
小茂田青樹《鳴鶏》	10月16日(日)	15人
瑛九《花》	11月6日(日)	16人
モーリス・ドニ《ジャグマユリの聖母子》	12月18日(日)	21人
大浦一志《杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13 普賢岳「再立」》	1月15日(日)	19人
堂本印象《鳥言長者草》	2月5日(日)	18人

(3) 橋本真之 スペシャル・トーク

11月に公開制作を行った《果実の中の木もれ陽》について、イメージ・ドローイングを前に作家自身が解説した。

内 容	実 施 日	参加人数
橋本真之 スペシャル・トーク	平成28年10月22日(土)	73人

(4) スペシャル・トーク 古川吉重を語る

古川吉重の御子息でギャラリストの石橋高基氏(KOKIARTS)をお招きし、話をうかがった。

内 容	実 施 日	参加人数
スペシャル・トーク 古川吉重を語る	平成29年3月26日(日)	43人

(5) アーティスト・プロジェクト#2.01 イベント アーティスト・トーク

出品作家の齋藤春佳氏によるアーティスト・トークを実施した。

内 容	実 施 日	参加人数
アーティスト・トーク 齋藤春佳	平成29年2月11日(土)	18人

(6) アーティスト・プロジェクト#2.01 イベント アーティスト・クロストーク

「山についてのドローイング」

出品作家の齋藤春佳氏、現代美術家・手塚多加丸氏、キュレーター・長谷川新氏が、齋藤春佳氏の作品を中心にフリー・トークを実施した。

内 容	実 施 日	参加人数
アーティスト・クロストーク 「山についてのドローイング」	平成29年3月4日(土)	41人

2 企画展示事業

(1) 企画展の開催

特定のテーマのもとに、年5回の企画展を開催した。

展覧会名	内 容	作品数	期 間	観覧者数
ジャック＝アンリ・ラルティエグ 幸せの瞬間をつかまえて	ジャック＝アンリ・ラルティエグ（1894-1986）はフランスの写真家です。幼いころから写真を撮り続け、生涯アマチュアを貫きました。あくなき探求心が生み出したユニークな視点の作品や、家族と友人の幸せなすがたをうつした作品などを通して、写真を楽しみ、人生の喜びをつかまえようとしたラルティエグの世界を紹介しました。	約 160 点	自 4月5日(土) 至 5月22日(日) (43日間)	7,244 人 1日当たり 168 人 うち有料観覧者数 5,174 人 1日当たり 120 人
竹岡雄二 台座から空間へ	竹岡雄二（1946-）は、国際的な舞台で活躍するデュッセルドルフ在住の美術家です。彫刻を置く台座そのものをテーマにした制作から出発し、その後、展示における空間を問う作品へと作風を展開してきました。この展覧会は埼玉県内の遠山記念館でも同時開催し、作者のプランのもと、文化財として知られる遠山邸の和風建築を生かした展示を試みました。	当館： 44 点 遠山記念館：6 点	自 7月9日(土) 至 9月4日(日) (51日間)	6,678人 1日当たり 131人 うち有料観覧者数 2,250人 1日当たり 44人

展 覧 会 名	内 容	作 品 数	期 間	観 覧 者 数
NEW VISION SAITAMA 5 迫り出す身体	<p>現在活躍中の埼玉ゆかりのアーティストに焦点をあてるシリーズ企画「ニュー・ヴィジョン・サイタマ」の第5回。80年代生まれの若手作家7名の近作や新作を紹介しました。自らの身体を經由して外界に触れ、その経験や感覚をそれぞれのメディアやスタイルで表現するアーティストたち。彼らの作品を通じて、同時代の感性と美術のこれからを展望しました。</p>	約 160 点	自 9月17日(土) 至 11月14日 (月・県民の日) (53日間)	5,814人 1日当たり 110人 うち有料観覧者数 2,276人 1日当たり 43人
日本におけるキュビズム ピカソ・インパクト	<p>モチーフを幾何学的に解体、再構成するキュビズムは、20世紀初頭、ピカソらによって生み出されました。戦前の日本の美術家はその革新的な作風を熱心に取り入れます。また、《ゲルニカ》などを描いたピカソに影響を受けた美術家は、1950年代、様々な作品に再びキュビズムの表現を応用します。大正から戦後間もない時期にかけての日本におけるキュビズムの展開を探りました。</p>	約 180 点	自 11月23日(木・祝) 至 1月29日(日) (53日間)	9,443人 1日当たり 178人 うち有料観覧者数 5,380人 1日当たり 102人

展覧会名	内 容	作品数	期 間	観覧者数
カッサンドル・ポスター展 グラフィズムの革命	フランスで活躍したカッサンドル（1901-68）は、20世紀を代表するグラフィック・デザイナーです。1920 - 30年代にカッサンドルが打ち出したダイナミックなポスターは、都市の街頭を演出する先駆的な表現として、その後の広告美術に大きな影響を与えました。都市と広告の刺激的な出会いを求めたカッサンドルのポスター芸術を紹介しました。	約 130 点	自 2月11日(土・祝) 至 3月26日(日) (39日間)	6,280人 1日当たり 161人 うち有料観覧者数 4,073人 1日当たり 104人

(2) 関連事業等の開催

企画展についての理解を深めるため、関連事業等を開催した。

ア ジャック＝アンリ・ラルティエグ 幸せの瞬間をつかまえて

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
4月24日	映画上映会「ポゾール王の冒険」監督＝アレクシス・グラノフスキー、1933年、フランス	-	100人	50人
4月29日	ミュージアム・コンサート「うつりゆく日々、とどめおく光」	サキソフォビア（緑川英徳、岡淳、井上JuJu博之）	60席	100人
5月5日	スペシャル・トーク 「幸せの瞬間をつかまえて -ラルティエグと堀内誠一」	堀内花子	100人	100人

イ 竹岡雄二 台座から空間へ

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
7月9日	アーティスト・トーク 「竹岡雄二氏に聞く」	竹岡雄二 聞き手：建畠哲（当館館長）	100人	85人
8月21日	キュレーターズ・トーク、 ノーカット版	平野到（当館学芸員） 梅津元（当館学芸員）	100人	65人

ウ NEW VISION SAITAMA 5

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
9月18日	山川冬樹 ライブ・パフォーマンス+レクチャー『音響身体論004』	山川冬樹	50人	40人
9月25日	阿目虎南（大駱駝艦）舞踏パフォーマンス「蝶番」	阿目虎南	50人	47人
10月30日	神様のお面を作って変身！神さまフェスティバル2016	hanage（青木真莉子、秋山幸、戸田祥子）	15組	15組 （30人）
10月23日	アーティスト×クロストーク	小畑多丘×宇多丸（RHYMESTER/ラッパー、ラジ オパーソナリティ）×松下徹（アーティスト）	-	110人
10月30日		青木真莉子×秋山幸（画家） ×戸田祥子（美術作家）		14人
11月3日		二藤建人×栗田大輔（美術批評）		31人
11月5日		小左誠一郎×兼平彦太郎（キュレーター）		20人
11月6日		鈴木のぞみ×新井卓（写真家）		33人
10月8日 10月9日 10月10日	たとえば、美術館に3日続けて 行ってみるとする。	L PACK	-	3,590人

エ 日本におけるキュビズム - ピカソ・インパクト

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
12月4日	レクチャー&ディスカッション「ピカソ・インパクト - 1950年代の日本におけるキュビズムの影響」	[レクチャー] 尾崎信一郎(鳥取県立博物館副館長) [ディスカッション] 池田龍雄(本展出品作家)×尾崎信一郎×建畠哲(館長)	100人	100人
1月15日	上映会「メトロポリス」	-	1日2回上映、各回100人	1回目62人 2回目73人

オ カッサンドル・ポスター展 グラフィズムの革命

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
2月26日	講演会「なんというかっこ良さ！魅惑のカッサンドル」	岡部昌幸(帝京大学教授)	100人	90人
3月5日	ミュージアム・コンサート	田ノ岡三郎(アコーディオン)	-	107人
3月11日	ミュージアム・コンサート	山田武彦(ピアノ)	60席	50人
3月19日	ミュージアム・コンサート	田ノ岡三郎(アコーディオン) 平原慎太郎(ダンス) 町田妙子(ダンス)	2回上演	72人 67人

(3) ギャラリー・トークの開催

より充実した鑑賞の機会とするため、担当学芸員による展示解説を実施した。

企 画 展	実 施 日	参加人数
ジャック＝アンリ・ラルティエグ 幸せの瞬間をつかまえて	4月16日(土) 5月7日(土)	12人 15人
竹岡雄二 台座から空間へ	7月30日(土)	22人
日本におけるキュビズム - ピカソ・イ ンパクト	11月26日(日) 12月24日(日)	22人 54人
カッサンドル・ポスター展 グラフィ ズムの革命	2月19日(日) 3月12日(日)	35人 41人

3 美術作品収集事業

平成28年度は、本県ゆかりのすぐれた作家の作品1点を購入したほか、近代から現代に至る作家の作品・資料等18点を寄贈により収集した。

	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(H×W×D) (mm)(額有は額寸)	収集 方針	評価額(円)
1	油彩画ほか	斎藤豊作	初冬の朝	1914(大正3)	油彩、カンヴァス	65.0×162.0cm	1	5,000,000
2	油彩画ほか	山田光春	作品	1936(昭和11)-37(昭和12)頃	油彩、ガラス(ガラス絵)	30.5×40.6cm	2	500,000
3	油彩画ほか	山田光春	作品	1951(昭和26)	油彩、ガラス(ガラス絵)	35.5×46.0cm	2	500,000
4	油彩画ほか	山田光春	作品	1951(昭和26)頃	油彩、ガラス(ガラス絵)	35.4×45.6cm	2	500,000
5	油彩画ほか	山田光春	作品	1950s(昭和25-35)頃	油彩、ガラス(ガラス絵)	20.0×30.5cm	2	500,000
6	ドローイング	斎藤豊作	鯉(装飾画の下絵)	制作年不詳	パステル、紙	31.2×48.0cm	1	300,000
7	ドローイング	竹岡雄二	(プロトタイプ - 背面補強)のプラン	1991(平成3)	水彩、鉛筆、紙	35.0×50.0cm	1	200,000
8	ドローイング	橋本真之	(果実の中の木もれ陽)制作スケッチ群(一括34点)	2003(平成15)～2016(平成28)	アクリル絵具、木炭、鉛筆など、ボード、紙など	最大130.0×90.5cm	1	1,040,000
9	ドローイング	山田光春	作品	1935(昭和10)頃	インク、紙	25.5×29.1cm	2	10,000
10	ドローイング	山田光春	作品	c.1935昭和10頃	インク、水彩、紙	25.5×28.9cm	2	10,000
11	ドローイング	山田光春	作品	1935(昭和10)頃	インク、水彩、紙	25.5×28.9cm	2	10,000
12	彫刻	木内克	トルソ	1950(昭和25)頃	テラコッタ	71×36×30.5cm	2	4,500,000
13	彫刻	竹岡雄二	(プロトタイプ - 背面補強)	1992(平成4)	赤ニスを塗布した木、数冊の本	70×124×95.5cm	2	4,000,000

	種別	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(H×W×D) (mm)(額有は額寸)	収集 方針	評価額(円)
14	彫刻	橋本真之	果実の中の木もれ陽 第3次増殖分	2000(平成12) - 2016(平成28) (部分/全体構想は1985年から)	鍛金、銅	増殖部分A:長さ約500cm×直径約160cm / 増殖部分B:長さ約400cm×幅約150cm	1	4,500,000
15	資料	山田光春	スケッチブック	1934(昭和9) - 1935(昭和10)	パステル、鉛筆、紙	24.0×32.0cm	2	100,000
16	資料	山田光春	スケッチブック	1934(昭和9) - 1935(昭和10)	パステル、紙	24.0×32.0cm	2	100,000
17	資料	山田光春	スケッチブック	1936(昭和11)	インク、紙	28.0×24.5cm	2	100,000
18	資料	山田光春	スケッチブック	1935(昭和10) - 1937(昭和12)頃	インク、水彩、紙	28.0×24.5cm	2	100,000
19	資料	山田光春	ドローイング一式(16点組)	1935(昭和10)頃	15枚はインク、1枚は水彩、紙	15枚は25.2×29.0/1枚は28.2×23.1cm	2	80,000
収集方針: 1 本県にゆかりのある優れた作家の作品 2 本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品						合計		22,050,000

4 普及事業

(1) 美術館講座の開催

美術館講座「近現代建築探検ツアー」を開催し、講義と現地見学により近・現代建築鑑賞の基本を学ぶ。

期 日	内 容	講 師	定 員	参加者数
平成28年 11月26日(土)	<見学先・古河市> 亀谷商事(株)(旧飯島家 住宅・旧飯島製糸煉瓦 倉庫)、篆刻美術館、古 河文学館、古河歴史博 物館、長谷川家住居	<ガイド> 伊豆井秀一(地域美産研究 会副代表)	20人 参加費 1,500円	18人
平成29年 3月18日(土)	<見学・鑑賞> 物質試行No,42《池田山 の住宅》、物質試行 No,24《絶対現場1987》	<講師> 鈴木了二(建築家)	20人 参加費 2,500円	18人

(2) 映像による紹介 ハイビジョン・コーナー(1階)

65インチの高精細ディスプレイにより、収蔵作品の概要や企画展、MOMASコレクションの紹介映像等を音声付きで放映した。

(3) 資料閲覧室の運営

国内外の美術図書、雑誌を公開するとともに、美術情報の提供や資料相談を行った。

(4) 広聴広報活動

ア 県民の多様な要望を美術館活動に反映させるため、1階エントランスロビーにアンケートコーナーを常設する他、企画展、MOMASコレクション、普及関連の講座等にあわせてアンケート調査を実施した。

イ アンケートやインターネットで受け付けた質問や要望の内容に応じて、随時回答を行った。

ウ 美術館広報紙「ソカロ(MUSEUM NEWS)」、「MUSEUM CALENDAR」及び企画展ポスターやちらし、学校向けの利用案内等を作成し、県内の情報拠点や全小・中・高、特別支援学校、全国美術館等に配布した。「MUSEUM CALENDAR」は仕様を刷新し、裏面に開館から平成28年度までの企画展一覧を掲載した。

エ 美術館ホームページやTwitter、Facebook、YouTubeを活用して、企画展やMOMASコレクション、その他の様々な催し物の内容や利用案内など、最新の美術館情報を発信した。

オ Google Arts & Cultureに参加し、当館のコレクションやストリートビューを全世界に向けて発信した。

カ MOMASコレクション及び企画展の開催にあわせ、JR東日本大宮支社の協力を得て北浦和駅構内にポスターを掲出した。

キ 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、WEB等各種の媒体に対して積極的なパブリシティに努めた。

ク 「New Vision Saitama 5」展についてJR京浜東北線の車内モニター広告(10月3日～9日)を、「日本におけるキュビズム」展について週刊読書人(11月11日)、美術手帖(11月17日、12月17日)および読売新聞(12月31日)への広告を実施した。

ケ 県展開催期間にMOMASコレクション観覧料割引サービスを実施した。

コ 北浦和地区の自治会、商店会との協力関係を築き、企画展チラシの回覧や掲示を行った。

サ 埼玉りそな銀行北浦和西口支店内および与野本町駅ショッピングセンター内のデジタルサイネージに、美術館の情報を提供した。

シ ディスクユニオン北浦和店(中古レコード店)と提携し、展覧会観覧者に対する購入割引サービスを実施した。

5 美術館の利用促進事業

(1) コンサート

北浦和公園を活用し、美術館利用を促進する事業を実施した。

期 日	内 容	場 所	定員	参加者数
平成28年 6月5日(日) 10月30日(日)	「北浦和公園ポリス・コンサート」 出演：埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊 主催：埼玉県警察本部広報課	北浦和公園	-	600人 400人

(2) ファミリー鑑賞会

ベビーカーの赤ちゃんやよちよち歩きのお子様と一緒に展覧会をゆっくりご覧いただけるよう、MOMASコレクション「ファミリー鑑賞会」を実施した。

期 日	内 容	参加者数
平成28年 5月11日(水)	スタッフによる作品解説及び観覧サポート	4組8人 (大人4・子供4)
10月12日(水)		27組56人 (大人29・子供27)

6 子ども向け事業

子どもたちが美術に関心を抱き、積極的に美術館を利用するよう促すため、毎週土曜日に「MOMASの扉」として次の講座等を開催する。

各講座等は、職員を中心に、授業連携をしている埼玉大学の学生や「教育普及サポート・スタッフ」の協力を受けて実施する。

(1) 「MOMASコレクション みる+つくる」

当館コレクションの鑑賞と、それをもとにした簡単な創作活動を楽しむ。

【対象枠：小中学生】

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年4月9日	「曲の感じを表わそう！」 (クラシックを聞きながら、曲の感じを色やドリッピングの線で表す)	30人	31人
6月18日	「額縁を作ろう！」 (名画を鑑賞し、それぞれに合った額縁を制作する。)	〃	30人
7月9日	「いろいろなものが集まって顔ができた！」 (顔のパーツをいろいろなものに見立てレリーフを作る)	〃	26人
10月8日	「お家への道案内」 (さいたまトリエンナーレ・ホームベースプロジェクト参加アーティストと自分の心の中の家までの道を描く)	〃	22人
11月26日	「MOMASの扉アートカードを作ろう！」 (展示室の作品をもとに鑑賞カードを作る)	〃	27人
平成29年2月4日	「鳥の世界へ」 (花鳥図を鑑賞後、和紙と色水で屏風に絵を描く。)	〃	23人

(2) 「MOMASコレクション 親子クルーズ」

MOMASコレクションを親子で鑑賞し、それをもとにした簡単な創作活動を楽しむ。【対象枠：小中学生＋保護者】

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年 4月30日	「名画をコラージュ！」 (収蔵作品の印刷物を使って、コラージュ)	15組	28人
7月23日	「表わそう！キラキラボード」 (彫刻作品を鑑賞して、親子で2羽の鳥を制作)	〃	24人
9月17日	「子供が大人 大人が子どもに変身！」 (親は子供の未来像、子供は親の子ども時代を想像して頭像を作る。)	〃	30人
10月15日	「北浦和山水図巻」 (自宅から美術館までの道のりを山水図西巻物にする。)	〃	28人
平成29年 1月 7日	「未来に願いを込めて」 (家族がテーマの作品を鑑賞後、家族のカレンダーを制作)	〃	27人
2月11日	「お面をつけて作品の中へ」 作品鑑賞と朗読劇で作品のイメージを広げ、お面を制作する。	〃	28人

(3) 「企画展物語 みる＋つくる」

企画展を鑑賞したのち、簡単な制作を行う。【対象枠：小中学生】

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年 5月21日	「動いて、撮って、動かそう！」 (チェキを使って宙に浮いている写真を撮り、動きをコマ撮りしてゾートロップを制作する。)	30人	29人
9月 3日	「ココロレントゲン」 (美術館のチラシをコラージュして心の中をCDケースの中に表わす。)	〃	27人
11月12日	「ゆらゆらやじろべえ」 (重さについて考える作品を鑑賞しやじろべえを制作して重さやバランスを楽しむ。)	〃	30人
12月24日	「メリーキュビスマス」 (作品の中から顔に見えるパーツを描きツリーに飾るオーナメントを作る。)- 「 い生き物を描こう！」	〃	27人
平成29年 2月25日	(幾何学図形を使い生き物や文字をデザインする)	〃	20人

(4) 「企画展物語 親子クルーズ」

企画展を親子で鑑賞したのち、簡単な制作を行う。【対象枠：小中学生 + 保護者】

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年 4月23日	「私に風景をかさねて！」 (チェキを使って二重露光を楽しむ)	15組	27人
10月29日	「迫り出す身体」 (吹き抜けの長さを目測し、身長をメモリにして長さを表わす。)	”	22人
平成29年 1月14日	「折り紙でキュビズム！」 (折り紙の折り目を切って分解し、絵に再構成して、キュビズムの理解を深める。)	”	30人
3月18日	「動きのある絵を動かそう！」 (赤青アニメの原理で2コマの動きを表わす。)	”	29人

(5) 「み～つけ！」

幼児(4歳から)とその保護者の美術館デビューをねらい、美術館でのできごとを体いっぱい楽しんでもらう。

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年 5月14日	「てのひらでつくるわたしのおおきさ」 (等身大の自分を新聞紙でつくる)	15組	30人
6月11日	「大きな彫刻を作ろう！」 (傘袋を使って参加者全員で大きな彫刻をつくる)	”	26人
9月24日	「和紙と墨でペタペタ鶏を作ろう！」 (＜鳴鶏＞を鑑賞し、墨とダンボールを使って屏風を作る。)	”	34人
12月 3日	「わたしたちはびじゅつかんでゆめをみる」 (＜眠る裸所＞を鑑賞し自分の寝姿を描いたり、夢の世界について話し合う。)	”	29人
平成29年 3月 4日	「からだをつかって」 (絵画鑑賞ゲームの後、足で絵を描き組み立てて家をつくる)	”	30人

(6) 「アート ビンゴ」

9つのクイズを解きながら、美術館を気軽に楽しんでもらう。

【対象枠：どなたでも】

期 日	定 員	参加者数
平成28年 4月16日	なし	60人
7月30日	〃	49人
10月22日	〃	56人
12月10日	〃	49人
平成29年 2月18日	〃	35人

(7) 「工房」

美術館ならではの制作活動を行う。【対象枠：小学生～一般】

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年 5月28日	「世界に一つ！自分だけの漢字を作ろう！」 (名前をカタカナで創作漢字を作り、印鑑を制作。)	30人	26人
7月16日	「未来の建物を作ろう」 (メタボリズム建築を学び、アイスの棒で模型制作。)	〃	24人
11月 5日	「見えないものを想像してみよう！」 (さいたまトリエンナーレ・ホームページプロジェクトのアーティストを招き、作品の塗り絵等。)	〃	22人
12月17日	「のぞいたら・・・あ！」 (作品の中の世界を想像して、生き物や在りそうなものを作る。)	〃	26人
平成29年 1月21日	「ふえて・わかれて・ひろがって」 (<果実の中の木もれ陽>を鑑賞し、増殖したものを想像して作る。)	〃	21人
3月11日	「壁サイを作ろう！」 (発泡スチロールを使って、サイ玉をつくる。)	〃	24人

(8) 「わくわく鑑賞ツアー」

美術館をスタッフとお話しながら作品を観て巡る。【対象枠：どなたでも】

期 日	定 員	参加者数
平成28年 6月25日	なし	38人
9月10日	〃	51人
11月19日	〃	20人
平成29年1月28日	〃	42人
3月25日	〃	25人

(9) 「彫刻あらいぐま」

北浦和公園の彫刻を洗って楽しむ。【対象枠：小中学生 + 保護者】

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年 6 月 4 日	「洗ってみよう、彫刻作品！」 (彫刻ボランティアの指導のもと彫刻を洗った後、粘土で再現し、親子の作品を組み合わせる。)	15組	29人

(10) 「サマー・アドベンチャー」

夏休み期間限定の特別企画を実施した。

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年 8 月 6 日	「ココロの中の地球のカタチ」 (まっ白い球に自分の考える地球をデザインする。)	30人	28人
8 月13日	「キラキラ カチカチスプーンワールド」 (スプーンとマグネットを使った造形遊び)	なし	171人
	「洗濯バサミで絵を描こう！」 (洗濯バサミを並べて巨大アートを制作)	なし	132人
8 月20日	「座れる段ボールの椅子大集合」 (座れる段ボールの椅子グランプリ鑑賞会)	なし	125人
8 月27日	「変身！野菜の大冒険」 (野菜のこについて学び、キャラクターをデザイン)	15組 30人	8 組 20人

(11) 「“もますまつり”」

平成27年度のリニューアルオープンを記念して開催した「もますまつり」が好評を博したため、平成28年度も、春と秋の2回、開催した。

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年5月5日	「リキシャカメラ再登場！」 「洗濯ばさみで絵を描こう！」	なし	279人
平成28年5月7日	「リキシャカメラ再登場！」 「洗濯ばさみで絵を描こう！」 「お顔をトレース 肖像画」	なし	376人
平成28年11月14日	「風を描こう」 「洗濯ばさみで絵を描こう！」 「お顔をトレース 肖像画」	なし	350人

(12) 「出張！MOMASの扉」

鴻巣市立赤見台第一小学校にて、プログラムを実施した。

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年12月26日	「洗濯ばさみで絵を描こう！」 「グッドデザインの椅子に座ってみよう！」	-	46人

(11) 「夏休みMOMASステーション」

夏休みに来館した子どもたちが美術館を効果的に活用できるように、必要に応じて情報提供やアドバイス等を行った。

小中学校の夏休み期間に合わせ毎日開催（7月21日～8月28日）

（対応者数：2,886人）

(12) 「夏休みガイド・ツアー」

夏休みに来館した小・中学生を主な対象として、対話型鑑賞を行いながらサポート・スタッフが作品を紹介する。（参加者数：45人）

（7月29日：14人、8月4日：11人、8月18日：20人）

7 学校との連携

学校の積極的な美術館の活用や、鑑賞教育のあり方等を探るため、講座等を開催する。

(1) 教員美術講座の開催

美術館を活用した鑑賞指導に関する講演会等を開催し、学校における美術館利用促進と鑑賞教育の充実を図る。

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成28年6月11日	座れる段ボールの椅子をつくるには	40人	59人
8月17日	土の世界 - 焼く粘土、焼かない粘土 -	30人	27人

(2) 埼玉大学との授業連携・他大学との協力

教員を目指す埼玉大学の学生が美術館の教育普及事業に参画した場合、その活動を大学の単位として認定する（登録者数：9人）。

また、他大学の学生にも、様々な教育普及事業に協力してもらう。

(3) 博物館実習生の受け入れ

12大学から16人を受け入れた。

(4) 美術館利用研究会の開催

当館職員と学校の教員を交えた研究会を毎月実施し、当館の収蔵作品を使った鑑賞プログラムや、子どもたちが作品鑑賞を楽しめるようなワークシートを開発し、県内

の各小・中学校に配布することにより、学校における美術館の利用促進を図る。

(5) 先生のための鑑賞授業ヒント講座

学校での見学や指導に生かせるよう、教員向けの鑑賞授業のレクチャーを行う。

期 日	内 容	参加者数
平成28年 5月15日	みることとは作ること・作ることとはみること	4人
10月30日	対話による鑑賞をやってみよう	4人

(6) 学校による団体利用の受入（随時実施）

以下の7つの内容を組み合わせて鑑賞・体験学習を行っている。

1 階展示室「MOMASコレクション」を見てみよう！

2 階展示室「企画展」を見てみよう！

かならず出会える作品たち（野外彫刻）を見てみよう！

グッドデザインの椅子たちに座ってみよう！

ワークショップ「洗濯バサミで絵を描こう」

アート・カードで楽しもう！

バックヤード見学。

(7) 授業協力（随時実施）

学校との連携強化と広報活動を兼ねて、収蔵品の複製画や鑑賞キットを使って鑑賞の授業を行う。

(8) 複製画等の貸出（随時実施）

(9) 第4回「座れる段ボールの椅子グランプリ」の開催

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、学校連携の強化・継続を図るため、小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童、生徒が制作した段ボール椅子のコンクールを実施した。（42校71点503名）

(10) 「ミュージアム・キャラバン」の実施

当館収蔵作家を学校に派遣し、鑑賞や創作体験を通して美術家としての生き方や考え方、美術の世界について、児童、生徒に伝えることを目的に実施する。

平成28年度も高田洋一氏を講師に迎え、同氏の作品の鑑賞も交えながら、空気を材料にしたアート体験プログラムを提供した。

・10月19日（水）上尾市立瓦葺小学校 5年生78人+教員6人

更に井上尚子氏を講師に迎え、匂いをもとに記憶を呼び覚まし、オレンジに自己投影して表す中学生を対象としたプログラムを提供した。

・12月7日（水）坂戸市立桜中学校 2年生101人+教員4人

8 ボランティア活動

(1) 美術館サポーターによる作品ガイド

「MOMASコレクション」開催中の毎日、午後2時から30分程度、来館者の鑑賞を支援するため、美術館サポーターが展示室内において作品解説を行う。

美術館サポーターは、常設展の解説ガイドを行うボランティアとして、平成12年に発足したもので、美術館が月1回開催する研修会への出席をはじめ、自主的な研修などを重ね、質の高い解説で好評を博している。(平成28年度登録者数：33人)

(2) 教育普及サポート・スタッフ

「夏休みMOMASステーション」、ツアーガイド、「MOMASの扉」等の教育普及事業をサポートするボランティア。教員や美術教育に関心を持つ学生等が参加し、6月中旬から7月初旬までの計3回の養成講座を経て、1年間の任期で活動を行う。(平成28年度登録者数：95人)

(3) 彫刻ボランティア

公共空間に設置されたアートを自らのものとして楽しみ、大切にする意識を醸成するため、そのリーダーとなる人材の育成を目的に組織したものである。

美術館スタッフと協力して美術館内外に設置された彫刻の点検・洗浄やワックスがけを行うとともに、パブリックアート入門やブロンズ彫刻の取扱い、保存等を中心とする講座や、現地見学会などを、概ね1か月に1回程度のペースで実施している。

一部の研修は、一般に開放して開催するとともに、有志による彫刻の自主洗浄日も設けている。(平成28年度登録者数：12人)

9 「椅子」の有効活用

内外のグッド・デザインの椅子やアートな椅子を、入館者に自由に座って楽しんでもらう。

これらの椅子は、企画展やMOMASコレクションの展示替えに合わせて定期的に入れ替えを行い、常時20脚から30脚程度を館内各所に配置するとともに、ホームページの「今日座れる椅子」コーナーで紹介する。

10 平成28年度 地域の核となる美術館・歴史博物館創造活動支援事業

(詳細については、次ページを参照)

文化庁 平成 28 年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業 「あなたと どこでも アート / おかわりプロジェクト」

1 事業名：「あなたと どこでも アート / おかわりプロジェクト」

2 事業主体：「あなたと どこでも アート 実行委員会」

3 実行委員会の構成：

埼玉県立近代美術館、うらわ美術館、川越市立美術館、川口市立アートギャラリー（アトリア）、入間市博物館（アリット）の県内の公立美術館 5 館の連携を中心として、大学、報道関係者、県関係課関係者を加えて構成。

4 実施体制：

実行委員会のもとに民間の文化芸術関係団体・関係者からなる運営委員会を置き、事業の運営・実施にあたる。S M F（Saitama Muse Forum）がその中核となる。

5 事業実施期間：平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

6 事業概要：

さまざまなアートの分野で活動している方々が集う S M F（Saitama Muse Forum）とともに、地域と共働したさまざまなアートプログラムやアウトリーチ活動を展開する。衣食住など暮らしに身近な視点からアートの創造性を捉え直し、芸術活動の活性化・基盤整備をめざしている。

平成 26 年度の「小さな家プロジェクト」、27 年度の「着がわりプロジェクト」に続き、28 年度は「おかわりプロジェクト」と題し、「北浦とおかわり芸術祭」と題した複合プロジェクトや、氷川参道や周辺市街での「OMIYA プロジェクト」、見沼たんぼで農の営みと連携した「TANBO プロジェクト」などを中心に、「食」や「おかわり」をテーマとしたさまざまなプログラムを連携する 5 つのミュージアムをはじめ県内各地で開催した。

また「さいたまトリエンナーレ 2016」に招聘された S M F が同トリエンナーレ会期中「S M F 学校」を展開するのに伴い、上記のプロジェクトをトリエンナーレ市民プロジェクトと位置付けて、トリエンナーレの活性化を支援した。

あわせて平成 26 年度事業によりネット上に誕生した「S M F アート長屋」の展開を図るとともに、「宝船展」や「アート寺子屋」を開催し、プラットフォーム形成活動の充実を図った。

7 事業実施状況

(1) おかわりプロジェクト

今年度の中核となるアートプログラム。「食」をテーマにミュージアムを出て、公園や商店街、市街地やたんぼなどで自在に展開。

9月～11月「北浦和おかわり芸術祭」埼玉県立近代美術館ほか：

埼玉県立近代美術館、北浦和公園、北浦和駅、近隣商店街を舞台に、作品展示、ダンス、インスタレーション展示など、様々な展覧会やワークショップを開催した。

9月24日・10月29日：創作ダンス公演「きたうらワン・シスターズ&ブラザーズ参上！」

埼玉県立近代美術館、北浦和西口銀座商店街（来場者 計40名）

9月24日：ワークショップ「きたうらワンが動き出す？ぬり絵コーナー」埼玉県立近代美術館、北浦和西口銀座商店街（参加者 50名）

10月29日～11月27日：インスタレーション「花咲かアートさんプロジェクト まわれ千の風車」北浦和公園（来場者 23,852名 会期中の美術館入館者数）

10月29日：創作ダンス公演「草上の昼餐」北浦和公園（来場者 200名）

11月11日～13日：音楽・造形・ダンス複合ワークショップ「おにぎりコロリン、おなかの旅～みんなで右脳をフル回転」北浦和公園、埼玉県立近代美術館（参加者・来場者 68名）

11月11日～20日：「回遊美術館 商店街・公園・埼玉近美を巡るアートの楽しみ」北浦和駅、北浦和西口銀座商店街、イオン、北浦和公園、埼玉県立近代美術館（来場者 7,467名）

11月14日：野外ワークショップ「風を描こう」北浦和公園（参加者 248名）

7月10日・24日・8月7日：「電子音響ピープル・プロジェクトWS@Saitama」行田、埼玉県立近代美術館、大宮（計67名）

10月16日：音楽・造形ワークショップ「MUCCAワークショップ」埼玉県立近代美術館（参加者・来場者 42名）

11月26日・27日：「MOMAS 空間音響ライブ vol.5 電子音響ピープル・プロジェクト2016 @SAITAMA スペシャルライブ」埼玉県立近代美術館（来場者 計110名）

8月～11月「OMIYA プロジェクト・都市の夢」市民会館おおみや旧地下食堂、氷川参道、周辺市街地：

都市と田園が自然に隣り合う埼玉県。さいたまトリエンナーレ2016の一環として市民会館おおみや内に設置する「SMF学校」を拠点に、氷川の杜、大宮周辺市街で様々なアートプロジェクトを展開。

8月21日・28日：小野養豚ん氏ワークショップ「空飛ぶトンちゃんマラカスをつくってみよう！」埼玉県立近代美術館（参加者 計37名）

9月24日：パフォーマンス企画「101匹トンちゃん大行進」市民会館おおみや（参加者 28名）

9月24日～11月6日：展示「小野養豚ん食堂展」市民会館おおみや（来場者 計3,463名）

9月24日～12月11日：田中清隆氏市街展示「アート散歩：光のかたちを探して」大宮周辺

市街協力店舗等 10ヶ所（来場者 計 2,068 名）

11月3日：音楽ワークショップ「不思議美術家・松本秋則さんと楽しむ気まぐれ音楽隊」市民会館おおみや、氷川参道、さいたま新都心駅コンコース（参加者・来場者 50名）

11月19日：造形ワークショップ「ヒカルキノコを作ろう！」市民会館おおみや（参加者 17名）

11月19日～27日：井上唯氏野外展示「旅するキノコ in 氷川参道」氷川参道平成広場（統計なし）

10月～11月「TANBO プロジェクト」さぎ山記念館、加田屋たんぼ、新加田屋たんぼ：

5月の田植から、6～8月の草取り、9月の稲刈り、10月の収穫を通して、見沼の食文化を様々な視点からとらえた。

10月29日：学習会・試食会「見沼地域の郷土食を知り、食べてみよう」さぎ山記念館（参加者 30名）

11月5日：学習会「藁はお米の親だもの」さぎ山記念館（参加者 12名）

11月6日：講演「環境カフェ 生物の多様性 レイチェル・カーソンから始まる環境意識」さぎ山記念館（参加者 12名）

9月10日・11日：「市民と作家による土器ダクト制作」さぎ山記念館（参加者 計 14名）

11月12日・13日：「農はアートだ！現場展」見沼新加田屋たんぼ（参加者 計 110名）

（2）おかわりプロジェクトM

「食」をテーマに各ミュージアムを中心に展開される多彩なプログラム。

8月7日・12月4日・1月8日：「聞いて味わう時空を超えるお茶の旅」入間市博物館方丈庵周辺（参加者 計 181名）

8月7日：陶芸ワークショップ「ラマダン・ファヌースを作ってみよう」川越市立美術館（参加者 73名）

8月13日：鑑賞、造形ワークショップ「キラキラカチカチ スプーンワールド」埼玉県立近代美術館（参加者 計 171名）

8月20日～26日：展示、講演「エジプトの食の文化展&講演・交流イベント」三番町ギャラリー（参加者・来場者 計 110名）

8月27日：造形ワークショップ「食のWS 変身！野菜の大冒険」埼玉県立近代美術館（参加者 20名）

9月14日：街歩き企画「アートさんぽ まちの記憶をたどる ビール・味噌 麦のみち」川口市内（参加者 20名）

10月26日～11月23日：展示「お茶の浮世絵特別公開」入間市博物館展示室（来場者 計 3,538名）

11月23日：レクチャー、点前体験「てんからまつへ～茶臼で挽くお茶のテンマツ～」入間市博物館青丘庵（参加者 41名）

11月12日：展示、シンポジウム「アートお茶の間談義」入間市博物館方丈庵周辺（参加者・

来場者 30名)

11月20日：茶室体験「五感で味わうわび茶の空間」人間市博物館展示室内茶室(参加者 37名)

1月14日：多世代交流ワークショップ「色と形のコックさん～つくってあそぼうアートなトンネル～」うらわ美術館(参加者 72名)

(3) SMFアート長屋の整備・拡張

平成27年3月にネット上に誕生したSMFアート長屋を整備拡張し、サイバーとリアルを往還しながら機能するアートプラットフォームをめざすプログラム。

「SMFアート長屋」のプラットフォーム機能の整備・拡張 「アート寺子屋・アーカイブ」の設置や音楽ファイル、動画ファイルへの対応などを含め、アート井戸端やアート物置の機能を充実させ「アート長屋」の整備・拡張といっそうの活用を目指した。

12月23日～：web上の展覧会「宝船展 on the net」SMFアート長屋 物置(パビリオン)

1月11日～15日：展覧会「宝船展 @MOMAS」埼玉県立近代美術館(5日間来場者 計529名)

1月15日：アート寺子屋「アートすることの意味？」埼玉県立近代美術館(参加者 42名)

(4) 記録集の発行

以上の各事業の成果を報告するため「あなたと どこでも アート/おかわりプロジェクト 記録集」を制作した。

11 一般展示室の利用状況

	展覧会名	開催期間 H28年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	第12回群炎埼玉支部展	4月5日	4月10日	6	2	絵画、彫刻、工芸、写真、創作人形ほか	64	761	126
2	第33回自然写真の会“彩”写真展	4月5日	4月10日	6	3	写真	27	684	114
3	パッチワークキルト展 原澤比佐子と仲間達	4月5日	4月10日	6	4	パッチワークキルト	155	1,066	177
4	第32回さいたま閨秀100選展	4月12日	4月17日	6	1	書	82	1,015	169
5	浦和写真クラブ作品展 自然と風土	4月12日	4月17日	6	2	写真	98	1,214	202
6	第8回五彩展	4月12日	4月17日	6	3	水彩、油彩	42	752	125
7	第23回溪水会展	4月12日	4月17日	6	4	日本画、水彩、油彩、水墨画、書ほか	66	635	105
8	市村緑郎 遺作展	4月19日	4月24日	6	1	彫刻、レリーフ、デッサン	108	1,101	183
9	第10回フォト・トルトゥーガ写真展	4月19日	4月24日	6	2	写真	65	1,049	174
10	渡会不二男・厚生労働省・卓越した技能者〔現代の名工〕記念展 ・・・言葉なき物の言葉・・・和紙ファイバーアートの世界	4月19日	4月24日	6	3	和紙ファイバーアート	18	1,327	221
11	彩美会展	4月19日	4月24日	6	4	日本画、水彩、油彩、工芸	52	697	116
12	コウダマサル展 屏風series - 変革の痕跡 -	4月26日	5月1日	6	2,3	水彩、アクリル	45	658	109
13	創立40周年記念 女流工芸展	4月28日	5月1日	4	1,4	工芸	210	2,814	703
14	第20回埼玉二科展	5月3日	5月8日	6	1~4	絵画、彫刻、デザイン	160	1,550	258
15	第66回埼玉県美術展覧会(県展)	5月31日	6月22日	23	1~4	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真	2,055	26,606	1,156
16	第35回埼玉県高等学校写真連盟写真展	6月29日	7月3日	5	1	写真	1,077	1,131	226
17	第7回埼玉植物画の会 作品展	6月29日	7月3日	5	2	水彩	109	1,157	231
18	大槻綾子 染色画展	6月29日	7月3日	5	3	工芸、書	30	466	93
19	18th BANSEI EXHIBITION	6月29日	7月3日	5	4	インスタレーション	66	477	95
20	第54回 公募 新構造埼玉展	7月5日	7月10日	6	1	絵画、彫刻、工芸、写真ほか	118	946	157
21	第23回基の会展	7月5日	7月10日	6	2	油彩、アクリル	21	805	134

	展覧会名	開催期間 H28年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
22	第29回白の会洋画展	7月5日	7月10日	6	3	油彩	26	858	143
23	永山佐和子 水彩画展	7月5日	7月10日	6	4	水彩	40	917	152
24	第43回埼玉二紀展	7月12日	7月17日	6	1~4	油彩、彫刻	107	1,202	200
25	第21回埼玉県書道芸術展	7月19日	7月24日	6	1	書	98	462	77
26	第25回二科会写真部 埼玉支部展	7月19日	7月24日	6	2	写真	141	835	139
27	第52回埼玉写壇展	7月19日	7月24日	6	3,4	写真	453	2,276	379
28	第15回埼玉独立展	7月26日	7月31日	6	1	油彩、水彩、ミクストメディア	70	1,148	191
29	親子三代展	7月26日	7月31日	6	2	写真、創作折り紙ほか	112	981	163
30	阿佐見昭彦写真展 “イタリア 中世の記憶”	7月26日	7月31日	6	3	写真	37	1,018	169
31	第6回椽の会展	7月26日	7月31日	6	4	日本画、アクリル、油彩、水彩、ドローイングほか	38	851	141
32	第12回水彩連盟埼玉西支部展	8月2日	8月7日	6	1	水彩	63	1,195	199
33	第26回旺玄会埼玉支部展	8月2日	8月7日	6	3,4	水彩、油彩、日本画、アクリル、版画	85	1,178	196
34	第50回記念 埼玉平和美術展	8月9日	8月14日	6	1~4	絵画、彫刻、工芸、写真、書、インスタレーションほか	315	2,058	343
35	樋口広一郎展 2012-2016	8月16日	8月21日	6	4	水彩	42	857	142
36	第30回記念 墨芳展	8月17日	8月21日	5	1~3	書	148	971	194
37	30周年記念(公募)埼玉創元展	8月23日	8月28日	6	1	水彩、油彩、日本画、版画、アクリル	100	1,359	226
38	第9回彩幸会 水彩・パステル画展	8月23日	8月28日	6	2	水彩、パステル	59	848	141
39	第30回フォトグループ ウェーブ展	8月23日	8月28日	6	3	写真	80	886	147
40	ポスケット・第18回個展「保倉勝美の世界展」	8月23日	8月28日	6	4	ポスケット	110	900	150
41	第50回埼玉三軌展	8月30日	9月4日	6	1	水彩、油彩、日本画	35	777	129
42	第32回アート現宇展	8月30日	9月4日	6	2	油彩、アクリル、コラージュ	36	577	96
43	第4回私の自然展	8月30日	9月4日	6	3	写真	55	631	105

	展覧会名	開催期間 H28年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
44	ヨシズミ トシオ展 ありあるクリエイションズ企画	8月30日	9月11日	12	4	油彩、水墨画、版画、ドローイング	36	1,207	100
45	第33回埼玉県写真サロン	9月6日	9月11日	6	1	写真	533	1,411	235
46	第25回工芸新樹会公募展	9月6日	9月11日	6	2	工芸	47	677	112
47	第8回フォトサークル・オプト写真展	9月6日	9月11日	6	3	写真	124	987	164
48	第60回記念埼玉書道展	9月15日	9月18日	4	1~4	書	759	1,761	440
49	第49回第一美術協会埼玉支部展	9月20日	9月25日	6	1	絵画、彫塑、工芸	154	1,300	216
50	第37回太平洋埼玉展	9月20日	9月25日	6	2,3	水彩、油彩、版画	84	1,020	170
51	第7回「自写自賛」写真展(小中四平個展)	9月20日	9月25日	6	4	写真	60	591	98
52	第20回西遊会美術展	9月27日	10月2日	6	1	水彩、油彩、版画、ドローイング	73	726	121
53	悠友会, 風の会, 合同展	9月27日	10月2日	6	2~4	水彩、油彩、日本画	92	832	138
54	40周年記念・四季との語らい 山崎義孝油絵展	10月4日	10月9日	6	2	油彩	63	605	100
55	M・A・S(協賛埼玉モダンアート)	10月4日	10月9日	6	3	油彩、版画、彫刻、ミクストメディア	25	683	113
56	全日写連浦和支部写真展	10月4日	10月9日	6	4	写真	44	665	110
57	第26回全国平成水墨画展	10月5日	10月9日	5	1	水墨画	96	622	124
58	さいたまトリエンナーレ2016市民プロジェクト さいたま市の美術家展	10月11日	10月23日	12	1,4	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真	100	4,891	407
59	第16回美術協会純展・埼玉支部展	10月11日	10月16日	6	2	水彩、油彩、日本画、ペン画ほか	41	963	160
60	矢島 俊一 油絵展	10月18日	10月23日	6	2	油彩、ドローイング	40	1,532	255
61	第11回日本刺繍飛鳥会作品展	10月18日	10月23日	6	3	工芸	72	868	144
62	第59回埼玉県高校美術展	10月26日	10月30日	5	1~4	絵画、版画、彫刻、工芸ほか	930	2,806	561
63	第25回全日中展(日中書画芸術大展)	11月1日	11月6日	6	1~3	水墨画、水彩、日本画、書	300	2,000	333
64	井上美千代 陶芸作品展	11月1日	11月6日	6	4	工芸	143	884	147
65	2016 CAFネビュラ展	11月9日	11月20日	12	1~4	絵画、版画、彫刻、工芸、写真、インスタレーション、映像	104	2,374	197

	展覧会名	開催期間 H28年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
66	第55回埼玉県高校書道展	11月22日	11月27日	6	1~4	書	727	1,603	267
67	第7回東原書展	11月29日	12月4日	6	1	書	159	882	147
68	叙勲記念 本橋清流書展	11月29日	12月4日	6	3,4	書	78	1,178	196
69	古布に恋して 江村眞佐子 パッチワークキルト展	12月6日	12月11日	6	4	パッチワークキルト	24	493	82
70	障害者アート企画展「UFU♥SAITAMA ±0」展	12月7日	12月11日	5	1	全分野	500	1,313	262
71	佳羊会展	12月8日	12月11日	4	3	油彩	41	332	83
72	第五十回記念全日本書道芸術院展	12月13日	12月18日	6	1,2	書	244	430	71
73	敏龍彦写真展「山水」/第6回敏龍彦ワークショップ「それぞれの瞬」	12月13日	12月18日	6	3	写真	77	336	56
74	ほうりきみわ写真展 「ときめいた瞬間」	12月13日	12月18日	6	4	写真	56	465	77
75	『tan tan tan の宝物』	1月10日	1月15日	6	4	パステル、点描曼荼羅	66	450	75
76	宝船展	1月11日	1月15日	5	1	絵画、映像、彫刻、写真、インスタレーションほか	27	529	105
77	Masa稲葉幻想展	1月17日	1月22日	6	3	写真	33	663	110
78	ヨシズミ トシオ展	1月17日	1月29日	12	4	油彩、版画、水墨画、アクリル画ほか	34	1,268	105
79	文教大学教育学部美術専修 卒業制作展	1月24日	1月29日	6	1	油彩、日本画、彫刻、切り絵	32	659	109
80	個展 大久保和繪	1月24日	1月29日	6	3	水墨画	25	418	69
81	平成28年度埼玉県美術系高等学校作品展・卒業制作展	2月1日	2月5日	5	1~4	絵画、版画、彫刻、工芸、写真、書ほか	1,200	1,997	399
82	第40回埼玉国展	2月7日	2月12日	6	1	油彩、写真	68	760	126
83	第21回大潮会埼玉支部展	2月7日	2月12日	6	2,3	水彩、油彩、パステル	65	1,015	169
84	第16回埼玉県弘済会会員文化創作展	2月7日	2月12日	6	4	絵画、版画、彫刻、工芸、写真、書ほか	126	1,143	190
85	第38回野美展	2月14日	2月19日	6	2	絵画、彫刻、工芸、切り絵	78	664	110
86	西尾路子展	2月14日	2月19日	6	4	現代美術、インスタレーション	28	753	125
87	第57回埼玉県小・中学校児童生徒美術展 第9回中央展覧会	2月18日	2月19日	2	1	水彩、版画、彫刻、工芸	200	1,487	743

	展覧会名	開催期間 H28年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
88	埼玉大学教育学部美術専修卒業制作展 彩展2017	2月21日	2月26日	6	1,2	絵画、彫刻、工芸、写真ほか	78	1,324	220
89	埼玉大学大学院修了制作展	2月21日	2月26日	6	3	絵画、版画、彫刻、写真	12	650	108
90	第13回埼玉県ネイチャフォト支部写真展	2月21日	2月26日	6	4	写真	89	845	140
91	第42回埼玉書道30人展	2月28日	3月5日	6	1	書	41	2,158	359
92	埼玉現展	2月28日	3月5日	6	3,4	日本画、彫刻、書、CG	69	1,227	204
93	日本工業大学工学部4研究室合同卒業制作展	3月3日	3月5日	3	2	ソフトウェアアート、インタラクティブインスタレーション、工業・情報デザイン	30	306	102
94	キルトリーダーズ埼玉パッチワークキルト作品展2017	3月7日	3月12日	6	1	パッチワークキルト	110	1,675	279
95	第4回箬の会油彩画展	3月7日	3月12日	6	3	油彩	72	723	120
96	風間光子パッチワークキルト展	3月7日	3月12日	6	4	パッチワークキルト	26	1,166	194
97	さきたま書展	3月14日	3月19日	6	4	書	66	260	43
98	彩の国さいたまきりえ展	3月21日	3月26日	6	2	きりえ	100	1,210	201
99	第4回ポーニア絵画展	3月21日	3月26日	6	3	水彩、油彩、アクリル、パステル	34	587	97
100	彩の国写真倶楽部・第十三回展	3月21日	3月26日	6	4	写真	44	818	136
101	第29回溪山会書作展<併催>新宮谿山書展	3月22日	3月26日	5	1	書	126	760	152
102	第45回主体美術武蔵野作家展	3月28日	4月2日	6	1	水彩、油彩、ドローイング	50	710	118
103	大槻二人展	3月28日	4月2日	6	3	日本画、油彩、工芸、クレパス	50	300	50
104	a ri A Ru Creationz	3月28日	4月2日	6	4	絵画、版画、写真、パフォーマンス	120	402	67
							合計	133,060	493
							県展除く	106,454	431

埼玉県立近代美術館 一般展示室利用状況（年度別）

平成28年3月31日現在

年度		一般展示室					備考
		1 (612.8㎡)	2 (231.5㎡)	3 (138.9㎡)	4 (161.3㎡)	計 (1,144㎡)	
11	利用可能週	50	50	50	50	200	112件
	利用週	48	49	49	50	196	
	利用率	96	98	98	100	98.0%	
12	利用可能週	49	49	49	49	196	104件
	利用週	46	47	48	49	190	
	利用率	93.9%	95.9%	98.0%	100%	96.9%	
13	利用可能週	26	26	26	26	104	56件
	利用週	26	26	26	26	104	
	利用率	100%	100%	100%	100%	100%	
14	利用可能週	51	51	51	51	204	107件
	利用週	47	49	47	50	193	
	利用率	92.2%	96.1%	92.2%	98.0%	94.6%	
15	利用可能週	51	51	51	51	204	105件
	利用週	43	49	47	51	190	
	利用率	84.3%	96.1%	92.2%	100.0%	93.1%	
16	利用可能週	51	51	51	51	204	106件
	利用週	47	48	50	51	196	
	利用率	92.2%	94.1%	98.0%	100.0%	96.1%	
17	利用可能週	51	51	51	51	204	91件
	利用週	46	50	50	48	194	
	利用率	90.2%	98.0%	98.0%	94.1%	95.1%	
18	利用可能週	51	51	51	51	204	93件
	利用週	47	48	50	49	194	
	利用率	92.2%	94.1%	98.0%	96.1%	95.1%	
19	利用可能週	51	51	51	51	204	97件
	利用週	50	48	50	51	199	
	利用率	98.0%	94.1%	98.0%	100%	97.5%	
20	利用可能週	51	51	51	51	204	106件
	利用週	51	50	49	50	200	
	利用率	100%	98.0%	96.1%	98.0%	98.0%	
21	利用可能週	51	51	51	51	204	103件
	利用週	48	45	50	51	194	
	利用率	94.1%	88.2%	98.0%	100%	95.1%	
22	利用可能週	52	52	52	52	208	102件
	利用週	48	48	48	48	192	
	利用率	92.3%	92.3%	92.3%	92.3%	92.3%	
23	利用可能週	51	51	51	51	204	107件
	利用週	46	46	48	47	187	
	利用率	90.2%	90.2%	94.1%	92.2%	91.7%	
24	利用可能週	51	51	51	51	204	113件
	利用週	45	49	50	51	195	
	利用率	88.2%	96.1%	98.0%	100.0%	95.6%	
25	利用可能週	19	19	19	19	76	40件
	利用週	19	19	19	19	76	
	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
26	利用可能週	19	19	19	19	76	44件
	利用週	19	19	19	19	76	
	利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
27	利用可能週	47	47	47	47	188	112件
	利用週	45	44	46	47	182	
	利用率	95.7%	93.6%	97.9%	100.0%	96.8%	
28	利用可能週	48	48	48	48	192	104件
	利用週	43	37	42	46	168	
	利用率	89.6%	77.1%	87.5%	95.8%	87.5%	

（利用実績には県展を含む）

平成28年度入館者数一覧（平成29年3月31日現在）

	入館者数	展示事業							普及事業					貸館事業		
		MOMAS コレクション	企画展示						企画展 関連	MOMAS コレクション 関連	教育・普及 関連	SMFアート 関連	資料閲覧室	一般 展示室	埼玉県美術 展覧会	
			ジャック＝ア ンリ・ラル ティエーグ 幸せの瞬間を つかまえて	竹岡雄二 台座から空間 へ	NEW VISION SAITAMA 5	日本における キュビスム - ピカソ・インパ クト	カッサンドル・ ボスター展 グラフィズム の革命	企画展計								
開催期間	4/1(金) ～ 3/31(金)	4/1(金) ～ 3/31(金)	4/5(火) ～ 5/22(日)	7/9(土) ～ 9/4(日)	9/17(土) ～ 11/14(月・県民の日)	11/23(水・祝) ～ 1/29(日)	2/11(土・祝) ～ 3/26(日)		4/16(土) ほか	4/24(日) ほか	4/9(土) ほか	4/1(水) ～ 3/31(木)	4/1(金) ～ 3/31(木)	4/1(金) ～ 3/31(木)	5/31(火) ～ 6/22(水)	
日数	308	240	43	51	53	53	39	239	29	15	61	-	308	247	23	
観覧者数 利用者数	243,512	39,560	7,244	6,678	5,814	9,443	6,280	35,459	5,153	380	3,221	42,849	2,839	106,454	26,606	
1日当たり 平均	790	164	168	131	110	178	161	148	178	25	53	-	9	431	1,157	
有料	一般個人	入館料 無料	17,761	4,547	1,489	1,966	4,538	3,602	16,142	-	-	-	-	-	-	-
	一般団体		1,943	187	556	80	443	140	1,406							
	大高個人		1,750	384	146	229	357	329	1,445							
	大高団体		73	56	59	1	42	2	160							
	合計		21,527	5,174	2,250	2,276	5,380	4,073	19,153							
無料	-	18,033	2,070	4,428	3,538	4,063	2,207	16,306	-	-	-	-	-	-	-	-

月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数	18,874	22,899	29,228	19,952	22,139	17,462	25,399	20,138	12,904	14,966	16,907	22,644	243,512

平成28年度 決算の概要

(単位：千円)

事業名	予算額	割合 (%)	決算額	割合 (%)	残額
企画展事業費	68,530	33.7%	64,590	34%	3,940
美術館管理運営費	78,111	38.5%	70,599	38%	7,512
教育財産管理費	1,300	0.6%	1,300	1%	0
事務局費〔経常費〕 (財務課で計上)	55,201	27.2%	51,632	27%	3,569
合計	203,142	100%	188,121	100%	15,021

(収入)

(単位：千円)

区分	予算額	割合 (%)	決算額	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
観覧料収入	22,720	11%	20,097	11%	2,623	-12%
一般展示室等使用料	15,327	8%	12,595	7%	2,732	-18%
行政財産使用料	5,240	3%	4,882	3%	358	-7%
図録等売払収入	5,730	3%	6,386	3%	656	11%
助成金	1,000	0%	1,000	1%	0	0%
その他	1,170	1%	891	0%	279	-24%
一般財源	151,955	75%	142,270	76%	9,685	-6%
合計	203,142	100%	188,121	100%	15,021	-7%

平成29年度 事業実施状況

1 常設展示事業

(1) MOMASコレクション（常設展）の開催

年度は4期に分け、多彩なテーマと切り口で収蔵作品を中心に一部借用作品も交えて企画性の高い展示を実施している。

会 期	内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
第1期	<p>「セレクション： モネとかルオーとか」</p> <p>「色を織り、光を綴る 斎藤豊作の絵画」</p> <p>「院展の作家たち」</p> <p>○「建畠哲×MOMASコレクション」</p>	71点	<p>自 平成29年 4月22日(土)</p> <p>至 7月16日(日)</p> <p>(70日間)</p>	<p>8,035人 1日当たり 115人</p> <p>うち有料観覧者数 3,148人 1日当たり 45人</p>
第2期	<p>「セレクション： シャガールとか田中保とか」</p> <p>「遠藤利克 - 供犠の論理学」</p> <p>「根岸に学ぶ 浅井忠の弟子たち」</p>	52点	<p>自 7月22日(土)</p> <p>至 10月1日(日)</p> <p>(63日間)</p>	<p>1,817人 1日当たり 227人</p> <p>うち有料観覧者数 365人 1日当たり 46人 (7/31時 点)</p>

会 期	内 容	展 示 作品数	期 間	観覧者数
第 3 期	<p>「セレクション： ピサロとか岸田劉生とか」</p> <p>「描かれたこどもの世界」</p> <p>「明治・大正の日本画 江森天寿を中心に」</p> <p>○「近代浦和・文化の景色」</p> <p>○「アーティスト・プロジェクト #2.02北野 謙」(10/7～12/1)</p>	未定	<p>自 10月7日(土)</p> <p>至12月24日(日)</p> <p>(69日間)</p>	
第 4 期	<p>「セレクション： ルノワールとかピカソとか」</p> <p>「とう・かたる 人と美術の出会いの中で」</p> <p>「小特集：小村雪岱」</p>	未定	<p>自2018年 1月 6日(土)</p> <p>至 4月15日(日)</p> <p>(75日間)</p>	

(2) サンデー・トークの開催

MOMAS コレクションおよび特別出品の展示作品から毎回 1 点を選び、学芸員による解説を実施する。

解 説 作 品	実 施 日	参加人数
モーリス・ユトリロ 《旗で飾られたモンマルトルのサクレ=クール寺院》	平成29年5月21日(日)	38 人
草間彌生《Flower》	6月18日(日)	18 人
斎藤豊作《初冬の朝》	7月16日(日)	19 人
倉田弟次郎《根岸田圃》	8月13日(日)	
遠藤利克《「泉 9個からなる」写真》	9月17日(日)	
以下、未定	以下、未定	

2 企画展示事業

特定のテーマのもとに、国内外の作品を年5回展示する。

展覧会名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者数
ロシア科学アカデミー図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜	江戸時代後期、長崎の出島への出入りを許された絵師、川原慶賀(1786-1860?)はシーボルトの要求に応じて西洋画法を習得し、姿かたちを正確にうつした植物画を数多く描きました。シーボルトがヨーロッパに持ち帰り、現在ロシア科学アカデミー図書館が所蔵する植物図譜を中心にしながら、国内所蔵の作品や資料も加え、慶賀の眼をたどります。	約 180 点	自 4月8日(土) 至 5月21日(日) (39日間)	7,763 人 1日当たり 199 人 うち有料観覧者数 4,239 人 1日当たり 109 人
遠藤利克展 聖性の考古学	遠藤利克(1950-)は、ヴェネツィア・ビエンナーレ、ドクメンタなどの国際的な舞台で活躍する日本を代表する彫刻家です。火、水、土、木などを素材とし、美術の根源に肉迫する思想的スケールの大きさを感じさせる作品は、国内外で高く評価されています。新作を交え、現在の遠藤の作品と思考に迫ります。	12 点	自 7月15日(土) 至 8月31日(木) (42日間)	2,608 人 1日当たり 174 人 うち有料観覧者数 926 人 1日当たり 62 人 7/31現在 (15日間) の実績

展 覧 会 名	内 容	作品数 (予定)	期 間	観覧者数
駒 井 哲 郎 展 - 夢の散策者	駒井哲郎（1920-1976）は戦後日本を代表する銅版画家のひとりで、静かな詩情漂う作風はいまなお見る者を魅了し続けています。当館は初期から晩年までの駒井の作品を約100点所蔵しています。この展覧会では、当館のコレクションを中心に、詩人との共同制作などにも焦点をあてながら、駒井の創作活動をさまざまな視点から読み解きます。	約 100 点	自 9月12日（火） 至 10月 9日 （月・祝） （26日間）	
ディエゴ・リベラの 時代 - メキシコの 夢とともに	ディエゴ・リベラ（1886-1957）はメキシコを代表する画家です。メキシコ革命後の1920年代、その思想を民衆に伝える壁画運動に尽力し、世界的な注目を集めました。その一方、肖像画や風俗画においても、優れた作品を残しています。厳選された作品を通してリベラの画業をたどりながら、同時代の画家も紹介し、メキシコの近代美術の魅力を探ります。	約 80 点	自 10月21日（土） 至 12月10日（日） （44日間）	
版画の景色 現代版画センター の軌跡	版画の普及とコレクターの育成を旨とした現代版画センター（1974-1985）は、およそ80人の美術家と700点余りの作品を世に送り出しました。多くの美術家や批評家が寄稿した「現代版画センターニュース」等の出版活動も、版画をめぐる時代の熱気を伝えます。本展覧会は作品と資料から、その活動の軌跡をたどります。	約 180 点	自 1月16日（火） 至 3月25日（日） （61日間）	

(2) 関連事業等の開催

企画展についての理解を深めるため、関連事業等を開催している。

ア ロシア科学アカデミー図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
4月15日	講演会 「川原慶賀の長崎歳時記」	下妻みどり	100人	75人
4月22日	ミュージアム・コンサート	川嶋哲郎 (サクソ、フルート)	65席	65人
4月23日	講演会 「川原慶賀の植物図譜」	大場秀章	100人	150人
5月7日	ミュージアム・コンサート	井上陽介 (ベース)	65席	85人

イ 遠藤利克展 聖性の考古学

期 日	内 容	講 師 等	定 員	参加者数
7月23日	スペシャル・トーク 「アートにおける物語性について」	遠藤利克 (彫刻家) × 森啓輔 (ヴァンジ彫刻庭園美術館学芸員) × 建畠哲 (当館館長)	80人	140人

(3) ギャラリー・トークの開催

より充実した鑑賞の機会とするため、担当学芸員による展示解説を実施している。

企 画 展	実 施 日	参加人数
川原慶賀の植物図譜	4月29日(土) 5月13日(土)	43人 35人
遠藤利克展 聖性の考古学	7月22日(土)	40人

3 美術作品収集事業

本県にゆかりのある作家及び本県の美術界に影響を与えた国内外の作家の作品を核とし、併せて現代美術の作品についても収集する。

4 普及事業

(1) 美術館講座の開催

今年度より、新しい美術館講座「映像の可能性」を開催する。映像の今日的な可能性を問う未来志向のプログラム。

期 日	内 容	講 師	定員等
平成29年 10月8日(日)	映像の可能性 第1回 「建築と映像の交差点」	鈴木了二(建築家)	・35人 ・参加費 1,500円

(2) 映像による紹介 ハイビジョン・コーナー(1階)

65インチの高精細ディスプレイにより、収蔵作品の概要や企画展、MOMASコレクションの紹介映像等を音声付きで放映する。

(3) 資料閲覧室の運営

国内外の美術図書、雑誌を公開するとともに、美術情報の提供や資料相談を行う。

(4) 広聴広報活動

ア 県民の多様な要望を美術館活動に反映させるため、1階エントランスロビーにアンケートコーナーを常設する他、企画展、MOMASコレクション、普及関連の講座等にあわせてアンケート調査を実施する。

イ アンケートやインターネットで受け付けた質問や要望の内容に応じて、随時回答を行う。

ウ 美術館広報紙「ソカロ(MUSEUM NEWS)」、「MUSEUM CALENDAR」及び企画展ポスターやちらし、学校向けの利用案内等を作成し、県内の情報拠点や全小・中・高、特別支援学校、全国美術館等に配布する。

エ 美術館ホームページやTwitter、Facebook、YouTubeを活用して、企画展やMOMASコレクション、その他の様々な催し物の内容や利用案内など、最新の美術館情報を発信する。

オ Google Arts & Cultureに参加し、当館のコレクションやストリートビューを全世界に向けて発信する。

カ MOMASコレクション及び企画展の開催にあわせ、JR東日本大宮支社の協力を得

て北浦和駅構内にポスターを掲出する。

キ 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、WEB 等各種の媒体に対して積極的なパブリシティに努める。

ク 企画展の想定される観覧者に合わせて、有効な広告を検討し実施する。

ケ 県展開催期間に MOMAS コレクション観覧料割引サービスを実施する。

コ 北浦和地区の自治会、商店会との協力関係を築き、企画展チラシの回覧や掲示を行う。

サ 埼玉りそな銀行北浦和西口支店内および与野本町駅ショッピングセンター内のデジタルサイネージに、美術館の情報を提供する。

シ ディスクユニオン北浦和店(中古レコード店)と提携し、展覧会観覧者に対する購入割引サービスを実施する。

5 美術館の利用促進事業

(1) コンサート

北浦和公園を活用し、美術館利用を促進する事業を実施する。

期 日	内 容	場 所	定員	参加者数
平成29年 6月4日(日) 10月29日(日)	「北浦和公園ポリス・コンサート」 出演：埼玉県警察音楽隊・カラーガード隊 主催：埼玉県警察本部広報課	北浦和公園	- -	600 -

(2) ファミリー鑑賞会

ベビーカーの赤ちゃんやよちよち歩きのお子様と一緒に展覧会をゆっくりご覧いただけるよう、MOMAS コレクション「ファミリー鑑賞会」を実施する。(2回)

期 日	内 容	参加者数
5月18日(木) 10月12日(木)	スタッフによる作品解説及び観覧サポート //	40人 -

6 子ども向け事業

子どもたちが美術に関心を抱き、積極的に美術館を利用するよう促すため、土曜日に「MOMASのとびら」として次の講座等を開催する。

各講座等は、職員を中心に、授業連携をしている埼玉大学の学生や「教育普及サポー

ト・スタッフ」の協力を受けて実施する。

(1) 「みる＋つくるMOMASコレクション」

MOMASコレクションや椅子のコレクション、建物などに焦点を当て、鑑賞をもとに簡単な制作を行う。(4回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成 29 年 4 月 15 日	「MOMAS探検隊！」 (紙の美術館にお気に入りの作品や場所を描きこむ)	30 人	24 人
7 月 22 日	「みつけて僕・私の場所」 (椅子を置いたらぴったりの世界をコラージュする)	〃	25 人
10 月 21 日	- 未定 -	〃	-
平成 30 年 3 月 24 日	- 未定 -	〃	-

(2) 「親子クルーズMOMASコレクション」

MOMASコレクションや椅子のコレクション、建物などを親子で巡り、鑑賞をもとに簡単な制作を行う。(3回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成 29 年 6 月 24 日	「1枚の板で椅子ができた！」 (A4デコパネ1枚を全部使って椅子を組み立てる)	15 組	31 人
9 月 9 日	- 未定 -	〃	-
11 月 18 日	- 未定 -	〃	-

(3) 「みる＋つくる企画展物語」

開催中の企画展への関心や興味を高めるため、展覧会の魅力やヒントをわかりやすく紹介しながら会場をまわり、その後に創作活動を楽しむ。(3回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成 29 年 5 月 13 日	「自然のかたち わたしたちの眼」 (公園の植物の葉をフロッタージュしたりスタンプする)	30 人	25 人
12 月 2 日	- 未定 -	〃	-
平成 30 年 3 月 10 日	- 未定 -	〃	-

(4) 「親子クルーズ企画展物語」

企画展示室を親子でまわり、鑑賞をもとにした制作を楽しむ。(3回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成 29 年 4 月 29 日	「葉っぱを観察してみよう！」 (公園の植物をスケッチしたり、葉脈をとり観察する)	15 組	33 人
10 月 7 日	- 未定 -	”	-
平成 30 年 1 月 27 日	- 未定 -	”	-

(5) 「みる+つくるSMF」

SMFアーティストを招いて、鑑賞や表現活動を行う。(3回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成 29 年 9 月 23 日	- 未定 -	未定	-
平成 30 年 2 月 10 日	- 未定 -	”	-
2 月 24 日	- 未定 -	”	-

(6) 「み~つけ！」

幼児(4歳から)とその保護者の美術館デビューをねらい、美術館でのできごとを体いっぱい楽しむ。(3回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成 29 年 6 月 3 日	「つなげて遊ぼう！」 (傘袋とお花紙を使って棒をつなげた大きな作品をつくる)	15 組	34 人
7 月 8 日	「きらきら枢機卿に大変身！」 (紙のマントや烏帽子に模様をつけてまとう)	”	31 人
11 月 4 日	- 未定 -	”	-

(7) 「工房」

美術館ならではの制作活動を楽しむ。(4回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成 29 年 5 月 27 日	「素敵をギュギュっと詰め込んだアートドーム」 (お気に入りの絵画をプラパンに描きピンの中につめ込む)	30 人	30 人
6 月 17 日	「絵にぴったりの額縁を作ろう！」 (気に入った作品に似合う額縁を木材で作る)	”	38 人
12 月 16 日	- 未定 -	”	-
平成 30 年 1 月 20 日	- 未定 -	”	-

(8) 「アート ビンゴ」

受付で参加証とビンゴシートをもらい、自分で館内を回りながらクイズに挑戦する。

(4回)

期 日	定 員	参加者数
平成29年 6月10日	なし	55人
11月11日	〃	-
12月 9日	〃	-
平成30年 1月13日	〃	-

(9) 「わくわく鑑賞ツアー」

スタッフと対話による鑑賞をしながら美術館を巡り、美術作品の鑑賞を楽しむ。

(4回)

期 日	定 員	参加者数
平成29年 4月22日	なし	27人
7月29日	〃	38人
10月28日	〃	-
12月23日	〃	-

(10) 「彫刻あらいぐま」 ボランティア活動はMOMASのとびらに統合予定。

北浦和公園内の彫刻作品を親子で洗って、鑑賞するプログラム。(2回)

期 日	定 員	参加者数
平成29年 5月20日	15組	25人
9月30日	〃	-

(11) 「フリープログラム」

無料で誰でも当日参加できる。天候・会場等に合わせ実施する。(4回)

期 日	定 員	参加者数
平成29年 4月 8日	なし	52人
7月15日	〃	126人
10月14日	〃	-
11月25日	〃	-

(12) 「サマー・アドベンチャー」

夏休み期間限定の特別プログラムを行う。(4回)

期 日	内 容	定 員	参加者数
平成 29 年 8 月 5 日	「イロイロ色水アドベンチャー～環境の彩りを探そう～」 (公園で集めた自然の色を色水で再現し、色の世界を楽しむ)	30人	-
8月12日	「フリー参加プログラム」 (洗濯ばさみや透明パネルに絵を描いたりして楽しむ)	なし	-

8月19日	「リズム&アートで遊ぼう！」 (音楽に合わせて遊ぶ、描く、楽器を作ったり演奏したりする)	60人	-
8月19日	「座れる段ボールの椅子大集合」 (コンクールの受賞作品の鑑賞会を観て聴いて楽しむ)	なし	-
8月26日	「みる+つくる 企画展物語」 (企画展を鑑賞し、作品の世界を楽しんだり制作したりする)	30人	-

(13) 「もますまつり」

ゴールデン・ウィークと県民の日に、フリー参加のプログラムを行う。(3回)

期 日	定 員	参加者数
平成29年5月5日	なし	444人
5月6日	〃	171人
11月14日	〃	-

(14) 「夏休みMOMASステーション」

夏休みに来館した子どもたちが美術館を効果的に活用できるように、必要に応じて情報提供やアドバイス等を行う。

小中学校の夏休み期間に合わせて毎日開催(7/21~8/31)

(対応者数 - 人)

(15) 「夏休みガイド・ツアー」

来館した小・中学生を主な対象として、常設展示室をサポート・スタッフが対話型の鑑賞を行いながら案内する(3回程度。各回午前中の30分間)。

(7月29日:23人、8月4日:13人、8月18日:-人)

7 学校との連携

学校の積極的な美術館の活用や鑑賞教育のあり方等を探るため、講座等を開催する。

(1) 教員美術講座の開催

美術館を活用した鑑賞指導に関する講演会等を開催し、学校における美術館利用促進と鑑賞教育の充実を図る。

期 日	内 容	定員	参加者数
平成29年6月10日	「座れる段ボール椅子を作るには」	30人	33人
8月17日	「楽しくわいわい! 子供も大人も造形遊び」	〃	17人

(2) 埼玉大学との授業連携・他大学との協力

埼玉大学の学生が、美術館の教育普及事業に参画した場合、その活動を大学の単位として認定する。

また、他大学の学生にも、様々な教育普及事業に協力してもらう。

(3) 博物館実習生の受け入れ

14大学から20人を受け入れる。

(4) 美術館利用研究会の開催

当館職員と学校の教員を交えた研究会を毎月実施し、当館の収蔵作品を使った鑑賞プログラムや、子どもたちが作品鑑賞を楽しめるようなワークシートを開発し、県内の各小・中学校に配布することにより、学校における美術館の利用促進を図る。

(5) 学校による団体利用の受入（随時実施）

以下の7つの内容を組み合わせて鑑賞・体験学習を行っている。

1階展示室「MOMAS コレクション」を見てみよう！

2階展示室「企画展」を見てみよう！

かならず出会える作品たち（野外彫刻）を見てみよう！

グッドデザインの椅子たちに座ってみよう！

ワークショップ「洗濯ばさみで絵を描こう」

アート・カードで楽しもう！

バックヤード見学。

(6) 学校への授業協力（随時実施）

(7) 学校への複製画、鑑賞プログラムの貸し出し（随時実施）

(8) 「第5回 座れる段ボールの椅子グランプリ」の開催

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、学校連携の強化・継続を図るため、小・中・高・特別支援の生徒が制作した段ボール椅子のコンクールを実施する。

(9) 「ミュージアム・キャラバン」の実施

美術館における教育普及活動の価値を広くアピールし、学校連携の強化・継続を図るため、県内の学校に当館収蔵作家を派遣し、美術への関心と理解を深める体験授業を展開する。平成29年度は2校の予定。

8 ボランティア活動

(1) 美術館サポーターによる作品ガイド

「MOMAS コレクション」開催中の毎日、午後2時から30分程度、来館者の鑑賞を支援するため、美術館サポーターが1階展示室内において作品解説を行う。

美術館サポーターは、常設展の解説ガイドを行うボランティアとして、平成12年に発足したもので、美術館が月1回開催する研修会への出席をはじめ、自主的な研修などを重ね、質の高い解説で好評を博している。

(2) 教育普及サポート・スタッフ

「夏休みMOMASステーション」、ツアーガイド、「MOMASのとびら」等の教育普及事業をサポートするボランティア・スタッフ。教員や美術教育に関心を持つ学生

等が参加し、毎年6月中旬から7月初めまでの計2回の養成講座を経て、1年間の任期中で活動を行う。

(3) 彫刻ボランティア

2004年の発足以来、彫刻ボランティアは公共空間に設置されたアートを自らのものとして楽しみ、大切にすることを醸成するために、美術館スタッフと協力して主に北浦和公園に設置された彫刻の点検・洗浄やワックスがけを行うとともに、ワークショップを主催して普及活動を行うなど成果を上げてきた。

平成29年度より、彫刻ボランティアは土曜日の子供向け普及事業「MOMASのとびら」において、彫刻洗浄プログラムを行う際の外部講師として活動する。彫刻洗浄プログラムは、春(5/20)・秋(9/30)の年2回実施予定。

9 「椅子」の有効活用

内外のグッド・デザインの椅子やアートな椅子を、入館者に自由に座って楽しんでもらう。

これらの椅子は、企画展やMOMASコレクションの展示替えに合わせて、定期的に入れ替えを行い、常時20脚から30脚程度を館内の各所に配置するとともに、当館ホームページの「今日座れる椅子」コーナーで紹介する。

また、学校への授業協力や公民館での「MOMASのとびら」プログラムでも活用する。

10 一般展示室の利用状況

	展覧会名	開催期間 H27年度		開催 日数 (日)	利用室	分野	展示 点数 (点)	観覧 者数 (人)	一日平均 観覧者数 (人)
		自	至						
1	2017 “ U展 ”	4月4日	4月9日	6	1・3	水彩、油彩、ドローイング、版画、彫刻	110	1,007	167
2	丹野よし子・和田育子春輝二人展	4月4日	4月9日	6	2	工芸、染め絵	100	765	127
3	第9回彩美展	4月4日	4月9日	6	4	日本画、水彩、油彩	45	698	116
4	第13回群炎埼玉支部展	4月11日	4月16日	6	2	水彩、油彩、彫刻、工芸、写真ほか	69	537	89
5	自然写真の会 “ 彩 ” 第34回写真展	4月11日	4月16日	6	3	写真	33	570	95
6	第25回溪水会展	4月11日	4月16日	6	4	日本画、水彩、油彩、書、水墨画、墨彩画ほか	63	594	99
7	第33回さいたま閑秀100選展	4月18日	4月23日	6	1	書	70	847	141
8	フォト・トルトゥーガ展2017	4月18日	4月23日	6	2	写真	98	838	139
9	第6回栗田ひさし・梨伽の絵画二人展	4月18日	4月23日	6	3	日本画、水彩、水墨画、墨彩画ほか	46	642	107
10	第11回彩ボタニカルアート展	4月18日	4月23日	6	4	水彩	44	681	113
11	浦和写真クラブ作品展『自然と風土』	4月25日	4月30日	6	2	写真	61	1,620	270
12	阿佐見昭彦写真展 “ KIZUNA ”	4月25日	4月30日	6	3	写真	38	1,076	179
13	第41回埼玉女流工芸展	4月27日	4月30日	4	1	工芸	164	1,720	430
14	第21回埼玉二科展	5月2日	5月7日	6	1～4	油彩、彫刻、デザイン	141	1,481	246
15	第67回埼玉県美術展覧会（県展）	5月30日	6月21日	20	1～4	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真	2,050	30,074	1,503
16	第36回埼玉県高等学校写真連盟写真展	6月28日	7月2日	5	1	写真	1,138	1,320	264
17	第36回キャノンフォトクラブ浦和写真展	6月28日	7月2日	5	3	写真	38	609	121
18	19th BANSEI EXHIBITION	6月28日	7月2日	5	4	インスタレーション	100	431	86
19	第16回埼玉独立展	7月4日	7月9日	6	1	水彩、油彩、ミクストメディア	69	643	107
20	第24回基の会展	7月4日	7月9日	6	2	油彩、アクリル	18	875	145
21	第30回白の会洋画展	7月4日	7月9日	6	3	油彩、パステル画	27	848	141
22	第10回こんとん水彩画展	7月4日	7月9日	6	4	水彩	40	780	130
23	あのひのかたち	7月11日	7月16日	6	4	油彩	69	497	82
24	第31回墨芳書道展<併催>小池大迹作品展	7月12日	7月16日	5	1～3	書	147	1,391	278
25	第44回埼玉二紀展	7月18日	7月23日	6	1～4	油彩、彫刻	114	1,202	200
26	第55回記念公募新構造埼玉展	7月25日	7月30日	6	1	水彩、油彩、版画	118	1,215	202
27	加藤修絵画展	7月25日	7月30日	6	4	水彩、油彩	33	711	118
							合計	53,672人	679人
79日									
県展除く 59日							県展除く	23,598人	400人

平成 2 9 年度 当初予算の概要

(支 出)

(単位：千円)

年度 事業名	2 9 年度 当初予算	割合 (%)	2 8 年度 当初予算	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
企画展事業費	79,025	37.6%	75,108	37.5%	3,917	5.2%
美術館管理運営費	78,827	37.5%	78,770	39.3%	57	0.1%
博物館・美術館オリパラプロジェクト 埼玉アート！未来発信事業	2,000	1.0%	0	0.0%	2,000	
教育財産管理費	1,300	0.6%	1,300	0.6%	0	0.0%
事務局費〔経常費〕 (財務課で計上)	48,887	23.3%	45,036	22.5%	3,851	8.6%
合 計	210,039	100.0%	200,214	100%	9,825	4.9%

(収 入)

(単位：千円)

年度 事業名	2 9 年度 当初予算	割合 (%)	2 8 年度 当初予算	割合 (%)	増減額	増減率 (%)
観 覧 料 収 入	28,873	13.7%	27,998	14.0%	875	3.1%
一般展示室等使用料	13,643	6.5%	15,327	7.7%	1,684	-11.0%
行政財産使用料	4,870	2.3%	5,240	2.6%	370	-7.1%
図録等売払収入	7,291	3.5%	6,511	3.3%	780	12.0%
そ の 他	1,144	0.5%	1,170	0.6%	26	-2.2%
一 般 財 源	154,218	73.4%	143,968	71.9%	10,250	7.1%
合 計	210,039	100.0%	200,214	100.0%	9,825	4.9%

埼玉県
立近代
美術館

The Museum of Modern Art, Saitama